

## 2006年度F2ゼミ 「バイオ創造設計」

2006.6.29

**講義の趣旨:**従来の F2 ゼミを一新し、バイオに関連した学生の創造性の育成を目的として昨年度に新設された実習的講義。7 類 1 年生全員(164 名)が参加(必須科目)。

**グループ編成:**7 類学生全員を計 20 グループ(8、9 名)に分ける。生命理工学部教員 20 名がアドバイザーとしてそれぞれ 1 グループを担当する。

### 実施課題:「バイオ教材の開発」

小学校の高学年から中学生程度の学生に対して、バイオに関するテーマ(遺伝子組み換え、ゲノム、アミノ酸、光合成、人工臓器、ガン、アルツハイマー、環境ホルモンなどバイオに関連したことなら、何でも可)を教えるための具体的な教育手法やツールを 8、9 名のグループ単位で考案する。小、中学生の前で実験を行ったり、自分たちが作った機材を使って何かを教えたり、様々な手法が考えられるが、与えられた予算の範囲内でできることであれば何を行っても良い。

ただし計画を立てるに当たっては、教育的効果や内容の安全性に関しても充分注意する。

あくまでも、学生自身が自主的にテーマ選びや実施内容の創意工夫を行うことを前提とする。

**実施場所:**アドバイザー教員と相談。

**スケジュール:**講義枠は木曜 3-4 時限とするが、アドバイザー教員との相談により、他の時間帯に行ってもよい。

6 月 29 日(木-F1,11 回目):説明会の実施。アドバイザー教員との顔合わせ。

場所:すずかけホール 2 階、集会室 1

7 月 6 日(木-F1,12 回目):6 月 29 日にできなかった場合、担当教員との顔合わせ。

場所:すずかけホール 2 階、集会室 1

7 月 6 日(木-F1,12 回目)~7 月 20 日(木-F1,14 回目):

グループ毎にテーマに関する議論、実験方法、途中の進行確認の日程 etc.を決める。

10 月 12 日:夏休み中の活動の成果報告(グループ毎、最低一人 1 つずつアイデアを出す。)

12 月中:グループ毎の発表練習(アドバイザーと行う)。他のグループとジョイントで行ってもよい。

○ **上記日程は大まかな目安です。日程に関してはアドバイザーと相談の上、進めること。**

**1 月 13 日(土) 成果発表会(全日) 公開コンテストの形式で行う。**

**予算:**各グループ 10 万円まで。物品を購入する際には、各グループにアドバイザーとして参加する担当教員に必ず事前に相談する。

**成果発表会:**一般の見学者を招く。生命理工学研究科内のスタッフも参加。

1 グループ 15 分(10 分説明、5 分質疑)、朝 9:30~。その後、審査と表彰式。

審査員が内容を審査。内部審査員以外に、企業等外部から審査員を招聘。学生も全員審査権を持つ。

終了後、懇親会開催。

1 位、2 位、3 位には賞状等を用意。特に優秀なグループには、外部で発表の機会を与える。